

行政一般報告編

～ 6月議会定例会以降の行事等について ～

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 目 次 | P. |
|--|----|
| (1) Bizサポートよこての拡充について | 27 |
| (2) 平成26年度地域版「東北地域の車を考える会」inよこてについて | 27 |
| (3) 京都太秦物産展について | 27 |
| (4) 世田谷区民まつりについて | 27 |
| (5) 横浜市自主文化事業委員会事業について | 28 |
| (6) 放課後子ども教室について | 28 |
| (7) 成人式について | 28 |
| (8) 後三年の役金沢資料館等の月曜等開館の実施について | 29 |
| (9) 後三年合戦沼柵公開講座について | 29 |
| (10) 市民スポーツ交流大会(グラウンド・ゴルフ)について | 29 |
| (11) 横手わか杉カップについて | 29 |
| (12) 友好都市スポーツ交流事業(厚木市訪問団受け入れ)について | 29 |
| (13) 楽天イーグルス「未来塾」について | 30 |
| (14) バドミントンクイーンズサーキット2014横手大会について | 30 |
| (15) 平成26年度バスケットボール女子日本代表第3次強化合宿について | 30 |
| (16) 合宿誘致事業について | 31 |
| (17) 横手カップバスケットボール大会の開催について | 31 |
| (18) 科学お楽しみ広場について | 31 |
| (19) 横浜市小児生活習慣病予防対策について | 31 |
| (20) 横手学校給食センターの見学会について | 32 |
| (21) 子ども読書環境整備事業について | 32 |
| (22) 横手川水辺のふれあいフェスタ紫陽花回廊まつりについて | 32 |
| (23) 第11回よこての全国線香花火大会について | 32 |
| (24) 増田の景観・まちなみを考えるつどいについて | 33 |
| (25) 増田まんが美術館夏の特別企画展について | 33 |
| (26) あやめまつりについて | 33 |
| (27) あやめ杯民謡大会について | 34 |
| (28) 平鹿地域協働のまちづくり会議について | 34 |
| (29) 第43回雄物川駅伝競走大会の実施について | 34 |
| (30) わくわくフェアinおものがわの開催について | 34 |
| (31) 第13回横荘線メモリーウォーキングの実施について | 35 |
| (32) 海産物フェア(海と山との直売所交流事業)について | 35 |
| (33) は・は・は祭りについて | 35 |
| (34) 関東地区大森町ふるさと会について | 35 |
| (35) 首都圏十文字会について | 36 |
| (36) 第42回十文字さくらんぼまつりについて | 36 |
| (37) 第36回狸々まつりについて | 36 |
| (38) 中尊寺ハスの開花について | 36 |
| (39) 夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃)について | 37 |
| (40) 山内地域観光わらび園について | 37 |
| (41) 2014大雄サマーフェスティバルについて | 37 |
| (42) たいゆう緑花園について | 37 |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概要等 |
|--------------|--|
| 商工観光部 | <p>(1)Bizサポートよこての拡充について</p> <p>7月1日、民間ビルの1階に開設していた「Bizサポートよこて」を同ビルの2階に移転し、貸事務室を2部屋から5部屋に増設しました。移転後、新たに1社が入居し、現在は3社が営業しています。</p> <p>今後は入居者の安定経営に資するよう支援し、また1人でも多くの方が起業出来るよう、情報提供や相談等について積極的に取り組んでいきます。</p> |
| | <p>(2)平成26年度地域版「東北地域の車を考える会」inよこてについて</p> <p>7月18日、県内では初となる「東北地域の車を考える会」を東経連ビジネスセンター、秋田県、県南工業振興会との共催のもと開催しました。これは国内自動車メーカーと県内のものづくり企業が有する高い技術や製品のマッチングを図ること、更にはメーカーとの交流・連携の実現を目的に実施したものです。</p> <p>当日はメーカーの開発関係者を迎え、県内7社のプレゼンテーション、講演会及び情報交換会を行い、企業27社に行政等関係者を加えた85人に参加いただきました。</p> <p>プレゼンテーションでは将来的にメーカーとの取引を期待できる製品・技術が発表されるなど、市内企業の新たなビジネスチャンスにつなげることが出来たと考えています。</p> |
| | <p>(3)京都太秦物産展について</p> <p>7月10日から12日、京都市太秦の大映通り商店街において「大魔神が秋田の土産を持って帰ってきた展」を開催しました。大映通り商店街にある地域シンボル「大魔神」像が秋田に、県庁の「なまはげ」像が京都に交換展示されたことを機に実施に至ったものです。期間中は、十文字の「さくらんぼ」を空輸することで、旬の味を直接PRするとともに、横手の物産(葡萄ジュース、地酒、漬物、横手やきそば等)を大々的に販売することが出来、食の宝庫としての印象を持っていただくことが出来ました。</p> <p>また、今回の物産展では大映通り商店街振興組合や京都秋田県人会の協力をいただくことが出来、京都との人・物の交流の可能性が広がりました。</p> <p>京都では東北や秋田県の物産展開催は少なく、今回の物産展を契機に交流を深め、京都のみならず関西圏をターゲットにしたPR活動の実施に向けた取り組みを進めていきます。</p> |
| | <p>(4)世田谷区民まつりについて</p> <p>東京都世田谷区で開催される自治体交流イベント「世田谷区民まつり」が8月2日、3日の日程で開催され、横手市の土産を持って参加しました。</p> <p>この世田谷区民まつりには、旧増田町、旧横手市が参加していたことから合併後も継続して参加しています。長年参加してきた経緯もあり、リングジュースを箱買いする方や多くの地酒を購入する横手市出身者の方も多く、ふるさと横手に触れることの出来る機会として毎年楽しみにされていました。また、自治体交流イベントでもあることから、県内から参加の羽後町や東北の各地、沖縄県宮古島市など多くの自治体との交流も出来ました。</p> <p>今後も継続して参加し、物産販売はもとより、世田谷区や参加自治体との交流を深め、横手市を全国にPRしていきます。</p> |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|--------------|---|
| 教育委員会 | <p>(5)横手市自主文化事業委員会事業について</p> <p>横手市民会館を会場に、下記の自主文化事業委員会主催・共催事業を実施しました。</p> <p>【主催事業】</p> <p>①『大坂昌彦スペシャル・ユニット“Knock Out Standards”Jazz CONCERT』 7月5日 横手市出身で、日本のジャズドラマートップの座につく大坂昌彦さんをリーダーとしたスペシャル・ユニットの公演を実施しました。アンケートでは「迫力ある生演奏に感動した」との声をたくさんいただきました。 入場者数:402人</p> <p>【共催事業】</p> <p>①劇団文化座公演『少年(スーホ)と白い馬』 6月12日 モンゴル民話「スーホと白い馬」を、劇団文化座代表の佐々木愛さんの朗読とモンゴル国立民族歌舞団アンサンブルの演奏とのコラボレーションで上演しました。また、公演に先立ちモンゴル国立民族歌舞団アンサンブルの皆さんが横手南小学校を訪れ、民族楽器の演奏や歌などで児童と交流を深めました。入場者数:206人</p> <p>②『週末よしもと「お笑い祭りin横手」』 7月13日 ベテラン芸人から若手まで、テレビ等で活躍している7組の芸人が地域ネタなどをふんだんに織り込んだトーク(話術)や芸を披露し、観客を楽しませました。入場者数:234人</p> |
| | <p>(6)放課後子ども教室について</p> <p>放課後子ども教室を、夏休み期間中の7月25日から8月22日の月・水・金曜日、11日間開催しました。</p> <p>これは、小学生が放課後や長期休業時に自主学習や体験活動で過ごせるための教室を設置し、子どもの健全育成を図ることを目的としています。</p> <p>市では今年度「増田子ども教室」が新たに加わり、「横手南」、「朝倉」、「旭」、「浅舞」、「雄物川」、「大森」、「十文字」、「山内」、「大雄」の10カ所、全地域での開設となりました。コーディネーターや教育活動サポーターをお引き受けいただいた地域の方々のご協力をいただき、無事に終了することが出来ました。</p> |
| | <p>(7)成人式について</p> <p>恒例の横手市成人式を、8月15日に横手市民会館で開催しました。今回の対象者は、平成5年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた方1,031人で、当日はこのうち780人の参加がありました。</p> <p>「Never ending story ～今、始まる第二章～」をテーマに、新成人は責任ある自立した社会人として、さらには社会に必要とされる人間として貢献することを誓い合いました。</p> |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概要等 |
|-------|---|
| 教育委員会 | <p>(8)後三年の役金沢資料館等の月曜等開館の実施について</p> <p>資料館等を休館日も開館してほしいとの声に応え、後三年の役金沢資料館、雄物川郷土資料館、石坂洋次郎文学記念館については7月から休館日も開館しています。秋の国民文化祭本番に向けて、より多くの観光客に横手市の文化的資産をご覧いただけるものと思います。</p> |
| | <p>(9)後三年合戦沼柵公開講座について</p> <p>7月26日に雄物川コミュニティセンター及び雄物川郷土資料館で、後三年合戦沼柵公開講座を開催しました。今回は、雄物川地域づくり協議会や雄物川地域活動の会「まち協」と連携しての開催で、これまでにない157人の参加をいただきました。</p> <p>雄物川郷土資料館で開催中の特別展「田んぼの下から 縄文時代・古墳時代のムラ」の展示解説と、青森県教育庁の根岸洋氏、盛岡市教育委員会の室野秀文氏らの講演による二部構成で、郷土の歴史について理解を深めていただきました。</p> |
| | <p>(10)市民スポーツ交流大会(グラウンド・ゴルフ)について</p> <p>6月23日、赤坂総合公園グラウンド・ゴルフ場を会場に、スポーツ推進委員会が主体となり、例年の規模を拡大して市内8地域からフリーに参加を募り、健康増進や親睦を図ることを目的に、市民スポーツ交流大会(グラウンド・ゴルフ)が開催されました。当日は、約300人の市民愛好者がグラウンド・ゴルフのプレーを通じ、地域間の交流を深めました。</p> |
| | <p>(11)横手わか杉カップについて</p> <p>今年で7回目となる「横手わか杉カップ」を7月5日から7日の3日間、雄物川体育館で開催しました。全国の強豪校8校が参加し、“煌めく青春 南関東総体2014”の前哨戦として注目される中、熱い戦いが繰り広げられ、地元の雄物川高校が市民の期待に応え、スポーツ立市宣言を記念するかのように粘りのプレーで悲願の初優勝を飾りました。3日間で延べ約3,000人の観客数となり、訪れた市民及びバレーボールファンに多くの感動を与えました。</p> <p>また、期間中は市内の中学校男子バレーボールチームを対象に、インターハイの出場校指導者によるバレーボールクリニックも開催しました。</p> |
| | <p>(12)友好都市スポーツ交流事業(厚木市訪問団受け入れ)について</p> <p>7月6日に行われた「第93回平鹿町マラソン兼あやめマラソン大会」に、友好都市である神奈川県厚木市から引率を含め4人の選手団が参加しました。当日のレースでは、一般男子10kmの部に参加した厚木市の選手が見事に優勝し、沿道の観客からも熱い声援で迎えられました。レース後には、秋田ふるさと村や増田のまちなみなどを案内したほか、特産品などを堪能いただき、横手市の観光資源をPRすることが出来ました。</p> |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概要等 |
|-------|--|
| 教育委員会 | <p>(13)楽天イーグルス「未来塾」について</p> <p>7月9日、午前中は植田小学校で4、5、6年生34人が、午後からは雄物川北小学校を会場に雄物川北、南、福地小学校の4、5、6年生と保護者220人が参加し、楽天球団職員を講師とした「未来塾」を開催しました。</p> <p>講師は、秋田市出身のゴールデンエンジェルス(楽天球団チアガールズ)の藤原かの子氏。「プロ野球の仕事」、「友達、恩師の大切さ」や、自分が子どもの頃にどんな夢や目標を持ち、どのように実現してきたかなどの実体験をお話しされ、子どもたちに「夢、目標を持つことの大切さ」を伝えていました。</p> |
| | <p>(14)バドミントンクィーンズサーキット2014横手大会について</p> <p>7月18日から20日にかけて、全日本ランキングポイントを争うオープン大会である「バドミントンクィーンズサーキット2014横手大会」を横手体育館で開催しました。各実業団チームや超高校級の実力を持つ高校など、全国各地から48人の女子選手が参加し、熱戦を展開しました。</p> <p>大会2日目の競技終了後には、市内外の小学生が参加してのバドミントンクリニックが行われ、日本リーグ各チームの監督・コーチや選手たちが指導を行いました。この大会は、同じ時期に来年度も横手市を会場に開催することが確認されました。実業団や高校各チームの監督・コーチからは、「サーキット事業の受け入れに関し、横手市は非常に協力的で感激している。スポーツ立市を掲げているという意気込みを感じる」との感想をいただきました。</p> |
| | <p>(15)平成26年度バスケットボール女子日本代表第3次強化合宿について</p> <p>7月22日、23日の2日間、世界選手権大会とアジア競技大会に臨むバスケットボール女子日本代表の強化合宿が横手体育館を会場に行われました。合宿は一般公開され、期間中は県内外より延べ2,000人のファンが訪れ、Wリーグ等で活躍するトップ選手の練習風景を間近で見学しました。</p> <p>最終日には、練習終了後に体育館を後にする選手たちを、訪れた観客全員でハイタッチして別れを惜しむなど、これからの「スポーツ立市よこて」を盛り上げるかのような、感動的なシーンとなりました。</p> <p>また、23日には市内中学校バスケットボール部女子選抜選手24人を対象に、アジア競技大会の出場選手、スタッフらによるマンツーマンのバスケットボールクリニックも開催されました。スター選手を前に、緊張気味の中学生たちでしたが、次第に打ち解けた雰囲気になり、常にハイタッチなどで声を掛け合うなど、笑顔と歓声の溢れるクリニックとなりました。参加した中学生からは、「初めは緊張したけど、普段の練習とは違う練習のやり方で面白かった。普段の練習にも生かしたい」との感想がありました。</p> <p>クリニック終了後、アジア大会代表チーム一色建志ヘッドコーチから講評をいただき、「皆さん一人ひとりに可能性がある。夢を持ち、この中から2020年のオリンピックを目指す選手が出てくることを期待したい」と熱いメッセージが贈られ、中学生の皆さんも感激していました。</p> |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|--------------|---|
| 教育委員会 | <p>(16)合宿誘致事業について</p> <p>8月2日からの中央学院大学硬式野球部を皮切りに、8月末までの約1か月間にわたり、大学硬式野球部などの夏季合宿がグリーンスタジアムよこてを会場に行われました。</p> <p>今年新たに誘致に成功した神奈川大学硬式野球部や、4年目となる日本体育大学硬式野球部のほか、高校球界の強豪校である神奈川県慶応高校と宮城県東北高校などが当市を訪れました。</p> |
| | <p>(17)横手カップバスケットボール大会の開催について</p> <p>8月7日から10日まで、横手体育館を会場に横手清陵学院高校男子バスケットボール部が主催、市・市教育委員会が共催する「横手カップバスケットボール大会(高校バスケットボールサマーキャンプ)」を開催し、関東・東北圏内の7校と市内の2校の計9校でリーグ戦を行いました。</p> <p>これまでに横手清陵学院高校と慶應高校との深い交流があり、その実績と市側の合宿誘致の働きかけが実を結ぶかたちで今回、県バスケットボール協会並びに市バスケットボール協会などのお力添えにより実現したものです。今後も、お互いの交流と競技力向上に向け、意義ある大会として継続していきよう働きかけていきます。</p> |
| | <p>(18)科学お楽しみ広場について</p> <p>横手市立朝倉小学校で7月28日、平成26年度横手市科学お楽しみ広場を開催しました。これは、児童の科学に対する興味・関心を高め、観察・実験やものづくりなどの活動に親しむ機会を充実させるとともに、本市理科担当教員を中心とする理科教育研究会会員の指導力向上を図ることを目的として行われたものです。</p> <p>当日は、市内の小学3年生以上の児童190人が参加し、「音で遊ぼう」など、12のブースからそれぞれが選択した観察・実験に取り組みました。特に、液体窒素を使った実験「-196℃の世界で遊ぼう」のブースでは、一瞬で凍り付いたテニスボールがガラスのように割れる様子に歓声が上がりました。各会場では、「やってみたい」「つくってみたい」という意欲に満ちた児童の生き生きとした活動が見られるとともに、「はじめて知った」「不思議だった」等の感想が寄せられました。また、指導者として博士号をもつ大曲工業高等学校の須田宏先生や秋田大学特認教授石橋研一先生の協力を得ながら、教師同士の情報交換も活発に行われました。</p> |
| | <p>(19)横手市小児生活習慣病予防対策について</p> <p>子どもが抱える高血圧や糖尿病など小児生活習慣病の予防対策を充実させていくため「横手市小児生活習慣病予防対策委員会」を設置し、1回目の会議を6月30日に開催しました。医師会、学校、保育所、行政などが連携し、健康診断や食事調査、肥満傾向児の個別指導、医療機関での受診など、それぞれが行っている事業や課題を共有し、子どもや保護者への啓発に取り組むことを確認しました。</p> |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概要等 |
|--------------|---|
| 教育委員会 | <p>(20)横手学校給食センターの見学会について</p> <p>横手学校給食センターには、「新センター内の見学、食育勉強、試食」を目的に5月29日から夏休み前の7月17日まで、小学校の親子での見学会などで10団体(見学者述べ人数:403人)が見学に訪れました。</p> <p>初めて見る横手学校給食センターの設備の大きさに驚くとともに、施設内の研修室において献立や栄養等について勉強し、美味しい給食を食べて楽しい一時を過ごしていただいています。</p> |
| | <p>(21)子ども読書環境整備事業について</p> <p>本事業では、今年度からの「横手市子ども読書活動推進計画」の実施を踏まえ、子どもが本を手に取り読みたくなる環境を作ろうと、市立図書館の児童書で汚破損の激しいものの更新を行っています。</p> <p>先ず、傷みの激しい本の多い横手図書館と十文字図書館で実施し、2館合わせて約3,500冊の児童書を新しくしました。これは、金額にして約550万円、本事業費の66%にあたります。両図書館とも新しくなった本の特設コーナーを設けて夏休みの子ども達に披露したところ、好評で次々と手に取って読む姿がありました。残りの4館の更新図書を選定・発注もスタートし、予定では、年末までに本事業は終了します。</p> <p>今後は、これらの図書も利用して、入園前の子どもに適した絵本のリストを作成し、健康相談等の機会に保護者へ情報提供するなど、子どもたちの生涯に渡る読書活動に繋げていきます。</p> |
| 横手地域局 | <p>(22)横手川水辺のふれあいフェスタ紫陽花回廊まつりについて</p> <p>7月13日、「第5回横手川と紫陽花に親しむお茶会」が本町観音寺の鐘撞堂下の広場において開催されました。当日はおよそ100人の参加者があり、市内の茶道関係者、横手城南高校、横手南中学校茶道部の皆さんのご協力により、横手川沿いを紫陽花で結ぶ「紫陽花回廊」の中で優雅にお茶会を楽しみました。なお、こうした長年の地域環境美化運動の取組みが評価され、「横手川紫陽花回廊運動株主会」が、今年度の環境大臣表彰を受賞しました。</p> |
| | <p>(23)第11回よこての全国線香花火大会について</p> <p>7月19日の夕方から横手川蛇の崎川原において、「第11回よこての全国線香花火大会」が開催されました。ときおり小雨の降る天気でしたが、高校生を中心に約200人のボランティアスタッフに支えられながら、昨年を上回る5,500人の来場者があり、川原に子どもたちの元気な歓声が響き渡る中、国産線香花火特有の繊細で可憐な光があふれる、情緒豊かな夏のイベントとなりました。</p> |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概要等 |
|-------|---|
| 増田地域局 | <p>(24)増田の景観・まちなみを考えるつどいについて</p> <p>昨年12月27日、増田のまちなみ約10.6haが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、今年に入ってから観光客数が前年比約3倍の28,000人と、大幅に増加しています。</p> <p>現在、保存地区周辺部を含めた、より広範な区域での一体的で良好な景観創出に向けて住民や事業者が意識を高めていくための啓発事業を実施しています。全国のこうした事例に詳しい弘前大学教育学部の北原教授の助言を受け、「増田の景観を育てるプロジェクト」と銘打って平成24年度から学習会を重ねてきました。これまでに9回開催した住民学習会には延450人余の住民・事業所・市職員が参加しており、少しずつ景観やまちなみを見つめ直す機運が生まれてきています。加えて平成25年度からは、次代を担う中学生にも地域の将来を考えてもらおうと、増田中学校の総合学習の中で増田のまちなみと景観を見つめ直す活動に取り組んでいます。</p> <p>また、横手市景観計画に基づく「景観重点地区」の指定に向け、関係町内への説明会を開催しました。</p> <p>(25)増田まんが美術館夏の特別企画展について</p> <p>増田まんが美術館では、夏の特別企画展「最初で最後の大原画展IKKI(イッキ)」を、7月26日から8月24日までの約1か月開催しました。</p> <p>月刊誌「IKKI(イッキ)」は、小学館が2000年に創刊し、大森町出身の土田世紀先生も連載していた本市にも縁のある雑誌で、独自の切り口でマンガの持つ可能性を追求し、数々の名作・話題作を輩出してきました。</p> <p>今回は、原画展はもちろん、漫画家の先生方を交えたトークイベントやサイン会も開催することが出来、ご来館の皆様には、盛夏のひとつきを「熱く」過ごしていただきました。</p> |
| 平鹿地域局 | <p>(26)あやめまつりについて</p> <p>6月28日から7月6日までの9日間にわたり、第33回浅舞公園あやめまつりが開催されました。5月下旬からの好天続きで開花が進み、まつり当初から花の見頃を迎えたことや、今年から増田、十文字、平鹿地域の連携事業として無料巡回シャトルバスを実施したこと、JR東日本秋田支社との連携により日帰りパック旅行を実施したことなどにより、昨年を大幅に上回る約58,000人の来場者で賑わいました。</p> <p>期間中は、吉田小学校のドリル演奏やよさこいソーラン踊りなどの様々なイベントに加え、地元商工業者によるテント村が設置されてまつりを盛り上げたほか、イベントスタッフとして県立衛生看護学院の学生、平成高等学校、平鹿中学校の生徒合わせて95人が参加し、ボランティア活動であやめまつりを支えてくれました。</p> <p>また、あやめまつりの開催を前に、浅舞公園周辺道路のクリーンアップを実施し、周辺地域の住民や各団体から113人が参加しました。その結果、約40kgのごみを拾い集めて地域の環境美化を図り、あやめまつりにお越しいただいた方々を気持ちよく迎えることが出来ました。</p> |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概要等 |
|--------|--|
| 平鹿地域局 | <p>(27)あやめ杯民謡大会について</p> <p>第24回あやめ杯民謡大会が7月21日、平鹿生涯学習センターで開催され、約350人の来場者で会場は満席となりました。</p> <p>大会には県内外から87人の参加があり、81人が参加した一般の部は湯沢市の金子未希さんが優勝し、6人が参加した年少の部は男鹿市の目黒菜々香さん(10歳)が優勝しました。</p> <p>県民謡連盟公認のこの大会は新人歌手の登竜門として評価されており、今年も県内外からの関係者との交流を深めながら大いに賑わいました。</p> |
| | <p>(28)平鹿地域協働のまちづくり会議について</p> <p>7月2日、平鹿生涯学習センターにおいて、各集落自治会長、消防団、民生児童委員、地域婦人会、地域局合わせて67人が参加し、平鹿地域協働のまちづくり会議を開催しました。少子高齢化など地域が抱える多岐な課題の解決に向け、集落自治会と行政が協働で、活気あふれる暮らしやすい地域社会を築いていこうとする意識の共有と、積極的な実践について、意見交換を行いました。</p> <p>また、同会議において平鹿地域雪対策連絡会議を併せて開催し、平鹿地域における雪に関する課題について意見交換を行いました。</p> |
| 雄物川地域局 | <p>(29)第43回雄物川駅伝競走大会の実施について</p> <p>6月29日、雄物川陸上競技場をメイン会場として、第43回雄物川駅伝競走大会を開催しました。参加チームは、オープン参加の横手明峰中学校陸上部を含む20チーム。全長17.3kmのコースを、地域や職場で結成された6人の選手が襷をつなぎ、健脚を競い合いました。</p> <p>選手たちは沿道からの大きな声援を受けて懸命にゴールを目指し、全ての力を出し切っていました。なお、優勝は「砂子田」チームで見事4連覇を果たしました。</p> |
| | <p>(30)わくわくフェアinおものがわの開催について</p> <p>7月21日、雄物川河川公園において、「第6回わくわくフェアinおものがわ」を開催しました。当日は好天に恵まれ、雄物川河川公園は約3,000人の来場者で賑わいました。来場者はカヌー体験やイワナの掴み取り等で水と自然にふれあい、地元特産のスイカの振る舞いに舌鼓を打っていました。また、消防車の試乗や放水体験に行列ができ、飛び入りゲスト「くまモン」の登場に会場からは歓声が沸いていました。</p> <p>なお、会場では「第25回雄物川グラウンドゴルフ大会」が67人の参加で同時開催され、午後からは高校生による「第4回ミニ電気自動車レース」が開催されました。</p> |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|---------------|--|
| 雄物川地域局 | <p>(31)第13回横荘線メモリーウォーキングの実施について</p> <p>7月21日、横荘線廃線跡の二井山～老方間を散策する「第13回横荘線メモリーウォーキング」が開催されました。この事業は、平成13年に横荘線廃線30年を記念して、雄物川町明道塾・雄物川町山岳会が主体となって立ち上げたものです。</p> <p>当日は市内各地から約50人の参加があり、由利本荘市側と合わせて102人が横荘線の往時を偲びながらウォーキングを楽しみました。</p> |
| | <p>(32)海産物フェア(海と山との直売所交流事業)について</p> <p>雄物川地域づくり協議会の「海と山との直売所交流事業」として、にかほ市金浦の物産館「にかほ陣屋」とタイアップした海産物フェアが開催されました。</p> <p>8月3日は雄川荘内ほほえみ直売所で旬の岩ガキや干物などを販売、えがおの丘や雄川荘でもカキを使った限定メニューを提供しました。</p> <p>8日は、は・は・は祭りで海産物を販売し、海の幸が雄物川町で食べられるということで好評でした。</p> <p>また10日には、にかほ陣屋で雄物川町スイカフェアを開催し、特産品であるスイカや野菜を販売して雄物川町の味をPRしました。</p> |
| | <p>(33)は・は・は祭りについて</p> <p>賑やかで華やいだ真夏の行事として定着している「は・は・は祭り」が8月8日に開催されました。</p> <p>今宿商店街を歩行者天国にした会場では、よさこいソーランやマーチングバンド、2013全日本なまりうたトーナメントで優勝した佐藤正昂さんが所属する「ケースケ&マサ」のステージ、様々な夜店などが祭りを盛り上げ、多くの人出で賑わいました。(来場者 3, 500人)</p> |
| 大森地域局 | <p>(34)関東地区大森町ふるさと会について</p> <p>6月29日、東京都上野で第31回関東地区大森町ふるさと会が開催され、会員や関係者約100人が参加しました。</p> <p>総会では地域局との更なる連携を確認、懇親会では県内出身テノール歌手による楽しいアトラクションやふるさとの特産品に会話も弾み、最後は「故郷」の合唱で大いに盛り上がりました。</p> |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|---------------|--|
| 十文字地域局 | <p>(35)首都圏十文字会について</p> <p>7月5日、東京都台東区の浅草ビューホテルを会場に第29回首都圏十文字会総会が開催されました。市内からの参加者を含め、180人を超える参加があり、横手高校OBを中心に結成されたブラスバンド「YOKOTE HEROS」による演奏も華を添えて、盛会となりました。</p> <p>今年度は、十文字地域づくり協議会委員も多数参加し、ふるさとを離れて何十年を経てもなお、思いを寄せていただいている会員の皆様と交流を深めていました。地域づくり協議会の会長も新たに首都圏十文字会の役員に選任され、今後更にふるさとの情報提供と会員との親睦交流に努めていきます。</p> |
| | <p>(36)第42回十文字さくらんぼまつりについて</p> <p>6月20日から7月13日にかけて、「第42回十文字さくらんぼまつり」がさくらんぼ樹園地を会場に開催されました。</p> <p>4年連続の豪雪で収穫が心配されましたが、天候に恵まれ例年より一週間ほど早く収穫を迎え、品質も良く例年並みの収穫量でした。さくらんぼ狩りには連日、県内外から多くのお客様が訪れ、たわわに実ったさくらんぼのもぎ取りなどを楽しんでいました。</p> <p>また、期間中は「さくらんぼ杯東北将棋大会」や「第56回十文字マラソン大会兼第29回さくらんぼマラソン大会」及び「第19回さくらんぼタネ飛ばし大会」が開催されました。タネ飛ばし大会には県内外の96人が参加し、一般の部の最長記録は19m20cmで、歴代2位の記録が生まれました。歴代最長記録は20m8cmとなっており、新記録を目指し来年も挑戦を誓う参加者もおりました。</p> |
| | <p>(37)第36回猩々まつりについて</p> <p>7月26日、「第36回猩々まつり」が十字の里を会場に開催されました。</p> <p>当日は好天に恵まれたことや会場を変更したことなどにより、例年の倍近い3,700人を集客し、地域内の4保育所と幼稚園園児による「よさこい踊り」をはじめ「なまはげ郷神楽」、「ベリーダンス」などが披露されたほか、今年は「猩々おどりコンテスト」が開催されるなど大いに観客を魅了し、横城小町による「よさこい演舞」では、会場一丸で演舞に参加し大いに盛り上がりました。</p> <p>また、地元産のスイカやメロンの試食、地酒の試飲、恒例の麺まきがあり、子供からお年寄りまで楽しんでいただき、今年も熱気あふれる祭りとなりました。</p> |
| 山内地域局 | <p>(38)中尊寺ハスの開花について</p> <p>平成22年、中尊寺より藤原氏ゆかりの地として譲り受け、山内筏地区の秀衡街道沿いに植栽した「中尊寺ハス」は、7月6日より開花し始め、開花ピーク時の7月中旬から下旬にかけては、百本を超える花が咲き誇りました。</p> <p>昨年、新たに休耕田を借り受けて拡張整備したハス池でしたが、2年目にしてハス池一面に花を咲かせ、行き交う人を和ませてくれました。</p> <p>「中尊寺ハス」が山内の新名所となり、多くの方々に来訪いただけるよう、今後も維持拡大に努めます。</p> |

平成26年6月議会定例会以降の行政一般報告

| 担当部局 | 概 要 等 |
|-------|---|
| 山内地域局 | <p>(39)夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃)について</p> <p>8月3日早朝から、山内地域の国道・県道のほか幹線道路沿線で地域住民総出で「夏のクリーンアップ」を実施しました。</p> <p>これは、地域住民の環境美化に対する意識の高揚を図るため、4月の春のクリーンアップに続き実施したもので、約1,100人の市民が参加し、集められたごみは、可燃ごみ430kg、不燃ごみ230kgに上りました。</p> <p>今後も、地域の環境をより良くするための活動を継続していきます。</p> |
| | <p>(40)山内地域観光わらび園について</p> <p>5月下旬から7月上旬にかけて、山内地域の2つの観光わらび園が開園され、「黒沢わらび園」では196人が、また、「三又わらび園」では130人が入園し、山内のわらび狩りを楽しみました。入園者は前年より約50人増加しており、元気な地域づくり事業を活用した共同チラシ等のPRの効果が現れたものと思われまます。</p> <p>秋には栽培を希望する農家にわらび苗を配布して、栽培わらびの作付を推進していく予定です。このような活動を通じて地域特産品の生産拡大にも貢献していきます。</p> |
| 大雄地域局 | <p>(41)2014大雄サマーフェスティバルについて</p> <p>7月26日、楽天イーグルス スタジアム大雄駐車場において「2014大雄サマーフェスティバル」を開催しました。</p> <p>第28回となる今年は、ホップの毬花を使った「大雄ホッパー大会」、「カブトムシ木登りレース」、お笑いタレントがゲスト出演した「横手かまくらFM公開生放送」、「新沼謙治コンサート」等のイベントのほか、麒麟ビール仙台工場直送のドラフトカーによるビアガーデンが大好評でした。</p> <p>また今回は、今年度末に地区内の田根森小と阿気小を統合し来年度には「大雄小学校」が誕生することから、2校の児童代表による統合セレモニーを行い、「心をひとつに／たねもり・あげ」の文字が浮かび上がる電飾の点灯を行いました。最後には迫力のある鮮やかな花火を打ち上げ、12,000人の来場者に大雄の夏の夜を楽しんでいただきました。</p> |
| | <p>(42)たいゆう緑花園について</p> <p>県道横手大森大内線沿いに広がる「たいゆう緑花園」が、今年で16年目を迎えました。1.3haの花畑では、6月に定植したベコニア、マリーゴールド、サルビアなど約4万本が8月中旬から満開となり、訪れる方々の心を和ませています。</p> <p>9月7日には、多くの方々に緑花園に親しんでいただくため、押し花体験などが楽しめる「たいゆう緑花園パノラマフェスタ」を開催します。</p> |